

IV 経営改善策

2. 個別課題への対応

⑥ 北港白津地区荷さばき地

位置図



拡大図

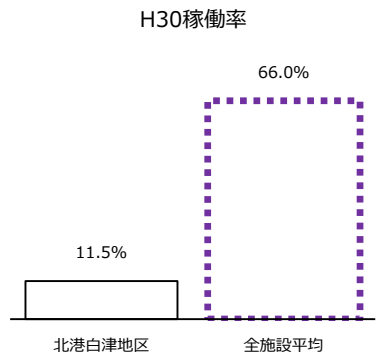
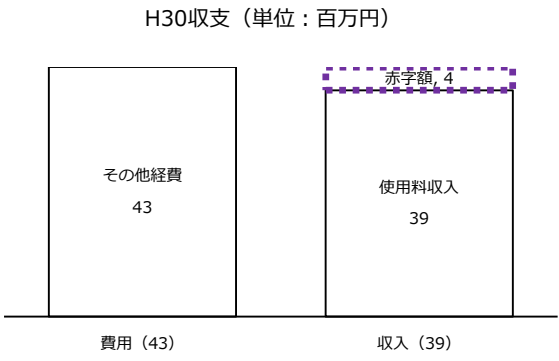


IV 経営改善策

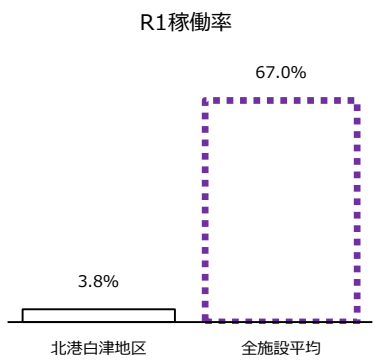
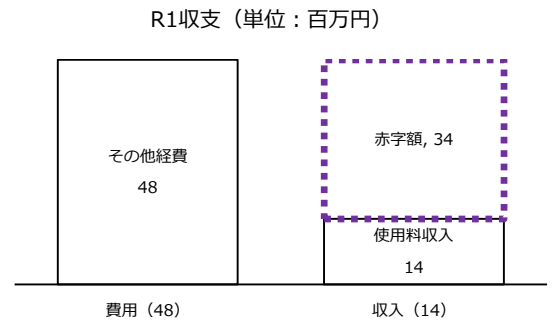
2. 個別課題への対応

⑥ 北港白津地区荷さばき地

北港白津地区荷さばき地の役割
・ 北港白津地区荷さばき地があるH S -2,3は公共コンテナ埠頭から外貿多目的埠頭への転換を実施した埠頭であり、自動車専用船、R O R O 船対応のターミナルとなっている。



これまで及び当面の取り組みによる収支見通し
・ 新たな事業者の掘り起しを行った結果、新たに自動車を運搬する事業者が使用することとなったため、今後、使用料収入が増加する見込みである。



収支分析などから導いた課題
・ 中古自動車等の輸出拠点として活用していた使用者が撤退した後、スポットでの使用のみとなり、稼働率が低下している。

課題解決のための「経営改善策」
(中期的取組)
・ 新たな事業者の掘り起こしを行う。

IV 経営改善策
 2. 個別課題への対応
 ⑦ J地区荷さばき地

位置図



拡大図



IV 経営改善策

2. 個別課題への対応

⑦ J地区荷さばき地

J地区荷さばき地の役割

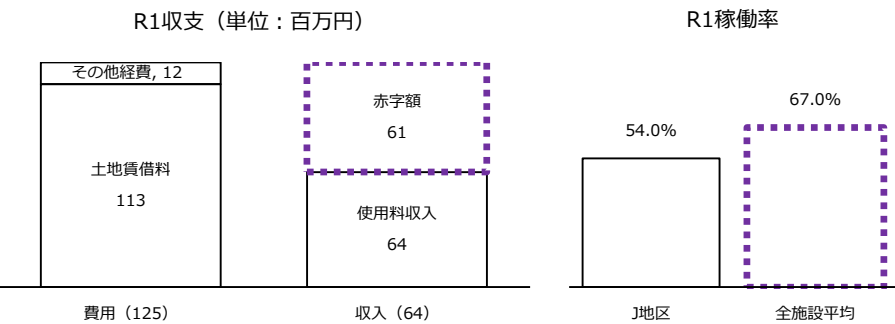
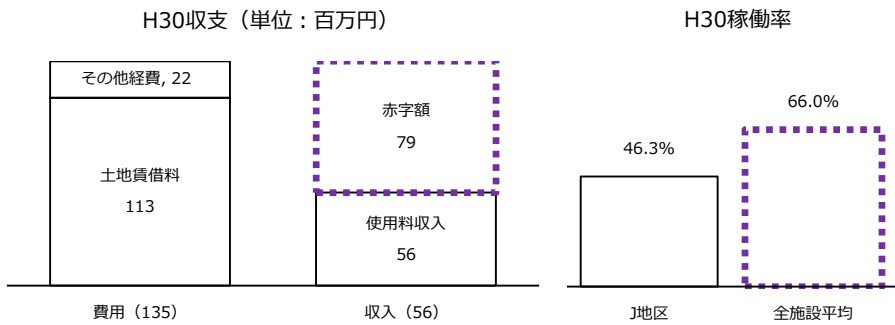
- J地区荷さばき地は、流通の効率化と保管・品質管理を図るため、背後に大型冷蔵倉庫や製材品センターが整備されており、それらの施設の貨物を扱う船舶の優先埠頭として運用している。
- しかしながら、近年は冷凍貨物のコンテナ化に伴い冷凍船の使用が減少しており、また製材については、取扱量が減少している。
- RORO船での荷役に対応できるよう、他岸壁よりも一体使用荷さばき地を広く指定してきたが、RORO船の利用が低下し、利用実態がそぐわなくなってきたことから、平成29年7月に一体使用荷さばき地の一部を通常の荷さばき地に変更した。
- 平成29年8月から、鉄及び非鉄金属スクラップの一時保管場所としてJ-1荷さばき地での使用を始めている。

これまで及び当面の取り組み

- J-3の新規利用を令和2年度中旬から見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用開始が延期されることとなった。早期の利用開始に向け引き続き取り組む。

収支分析などから導いた課題

- 通常の荷さばき地に変更した箇所に関して新たな利用を見込んでいたが、見込み通りになっておらず、使用料収入が伸びなかった。



課題解決のための「経営改善策」

(中期的取組)

- 新たな事業者の掘り起こしを行う。